

2026年4月1日

株式会社 東芝

HRMソリューション部

Generalist e-University[®] セキュリティホワイトペーパー

1. 本書の目的

本書では、株式会社 東芝（以下、当社）が提供するGeneralist e-University[®]における「ISO/IEC 27017:2015に基づくISMSクラウドセキュリティ認証に関する要求事項」（以下、「要求事項」とする）に適合した情報セキュリティマネジメントシステム（以下、ISMSとする）への取組みを解説いたします。

2. 本書の適用範囲

本書の適用範囲は、Generalist e-University[®]です。

3. Generalist e-University[®]の概要

Generalist e-University[®]は、教育管理・eラーニングソリューションを提供する Software as a Service (SaaS) 型のクラウドコンピューティングサービスです。

4. 責任分界点

Generalist e-University[®]の責任分界点は、以下のとおりです。

: お客様の管理範囲 : 当社の管理範囲

ユーザデータ（コンテンツ、受講履歴、ユーザ・アクセス権情報等）
アプリケーション（Generalist e-University [®] ）
ミドルウェア
OS
仮想マシン（VM） 仮想CPU、仮想メモリ、仮想ストレージ、仮想ネットワーク等
仮想マシンモニタ（VMM）
物理マシン （物理CPU、物理メモリ、物理ストレージ、物理ネットワーク機器等）
ファシリティ

5. ISO/IEC 27017に対応するセキュリティへの取組み

(1) 5.1.1 情報セキュリティのための方針群

Generalist e-University[®]における情報セキュリティのための方針は、当社の定めた情報セキュリティ基本方針（[サイバーレジリエンスの強化と安全・安心なAI活用 | サステナビリティ | 東芝](#)）、並びに本書の次の各箇所に示します。当社では、これらの方針群に従ってサービスの運営を行います。

- クラウドサービスの設計および実装に適用する、最低限の情報セキュリティ要求事項（「CLD.9.5.2 仮想マシンの要塞化」参照）
- 認可された内部関係者からのリスク（「7.2.2 情報セキュリティの意識向上、教育及び訓練」参照）
- 仮想化を含む、マルチテナンシー及びクラウドサービスカスタマの隔離（「CLD.9.5.1 仮想コンピューティング環境における分離」「13.1.3 ネットワークの分離」参照）
- 本適用範囲の社員による、クラウドサービスカスタマの資産へのアクセス（「9.4.1 情報へのアクセス制限」参照）
- アクセス制御手順（クラウドサービスへの管理上のアクセスのための強い認証）（「9.2.3 特権的アクセス権の管理」参照）
- 変更管理におけるクラウドサービスカスタマへの通知（「12.1.2 変更管理」参照）
- 仮想化セキュリティ（「CLD.13.1.4 仮想及び物理ネットワークのセキュリティ管理の整合」参照）
- クラウドサービスカスタマデータへのアクセス及び保護（「9.2.2 利用者アクセスの提供」参照）
- クラウドサービスカスタマのアカウントのライフサイクル管理（「9.2.1 利用者登録及び登録削除」参照）
- 違反の通知、並びに、調査及びフォレンジックを支援するための情報共有指針（16.1.1 責任及び手順 参照）

(2) 6.1.1 情報セキュリティの役割及び責任

「Generalist e-University[®] サービス利用規約」及び「Generalist e-University[®] サービス仕様書」にセキュリティに関する役割と責任の割当て（分担）を定義しています。

責任分界点については、「4.責任分界点」を参照ください。

(3) 6.1.3 関係当局との連絡

当社の本社所在地は神奈川県川崎市幸区堀川町72番34です。Generalist e-University[®]のデータは日本国内に保存します。

(4) CLD.6.3.1 クラウドコンピューティング環境における役割及び責任の共有及び分担

「Generalist e-University[®] サービス利用規約」及び「Generalist e-University[®] サービス仕様書」に、お客様と当社のセキュリティに関する役割と責任の割当て（分担）を定義しています。責任分界点については、「4.責任分界点」を参照ください。

(5) 7.2.2 情報セキュリティの意識向上、教育及び訓練

Generalist e-University[®]に関わる要員には、お客様のデータおよびその派生データ（設定情報やログ等）を適切に取り扱うための内容を含む、I S M Sクラウドセキュリティ教育を受講させています。

(6) 8.1.1 資産目録

お客様がGeneralist e-University[®]に保管している情報、およびGeneralist e-University[®]を運営するために必要なデータ（設定情報等）は情報資産として識別し、当社の情報資産とは明確に分離しています。

(7) CLD.8.1.5 クラウドサービスカスタマ資産の除去

お客様が本サービスのご利用を終了する際には、「Generalist e-University[®] サービス仕様書」通りに、お客様の情報資産を適切に処理いたします。

(8) 8.2.2 情報のラベル付け

Generalist e-University[®]では、お客様の運用に合わせて、権限情報に基づき、研修情報等の開示範囲を制限する機能を提供しています。

利用方法は管理者画面のメニューやガイドにしたがってください。

(9) 9.2.1 利用者登録及び登録削除

お客様は、Generalist e-University[®]の利用者登録及び登録の無効化を行うことができます。利用方法は管理者画面のメニューやガイドにしたがってください。

(10) 9.2.2 利用者アクセスの提供（provisioning）

お客様は、Generalist e-University[®]の利用者毎のアクセス権を登録及び変更することができます。利用方法は管理者画面のメニューやガイドにしたがってください。

(11) 9.2.3 特権的アクセス権の管理

Generalist e-University[®]では、任意のパスワードポリシーに設定可能な認証機能及びアクセス権に応じた機能制限等お客様のセキュリティに配慮した機能をご提供しています。

(12) 9.2.4 利用者の秘密認証情報の管理

Generalist e-University[®]では、パスワードリマインダ機能等において、お客様がご自身のパスワードを設定できる機能を提供しています。利用方法は管理者画面のメニューやガイドにしたがってください。

(13) 9.4.1 情報へのアクセス制限

お客様は、Generalist e-University[®]の利用者毎のアクセス権を登録及び変更することができます。利用方法は管理者画面のメニューやガイドにしたがってください。

(14) 9.4.4 特権的なユーティリティプログラムの使用

Generalist e-University[®]の「管理者画面」において、特権の権限が必要な操作（設定変更

等)を実施いただけます。それ以外のユーティリティプログラムはご提供していません。

(15) CLD.9.5.1 仮想コンピューティング環境における分離

Generalist e-University[®]では、仮想化ソフトウェアの機能等により各お客様の環境やデータを論理的に分離しています。

(16) CLD.9.5.2 分離仮想マシンの要塞化

Generalist e-University[®]では、必要なポート/プロトコル/サービスだけを有効とする要塞化や、マルウェア対策、ログ取得等の技術的対策を行っています。

(17) 10.1.1 暗号による管理策の利用指針

Generalist e-University[®]では、次の暗号化機能を提供しています。

- ・お客様サイトからGeneralist e-University[®]にアクセスする際のHTTPS通信の暗号化。

(18) 11.2.7 装置のセキュリティを保った処分又は再利用

Generalist e-University[®]の構成要素のうち、当社の利用する設備についてはセキュリティを保った処分または再利用を行っています。

(19) 12.1.2 変更管理

Generalist e-University[®]の内容を変更する場合、影響のあるお客様には事前にログイン画面またはヘルプデスクサービスよりお知らせします。

(20) 12.1.3 容量・能力の管理

Generalist e-University[®]では、リソース不足による情報セキュリティインシデントの発生を防ぐため、サービス全体での容量・能力の監視を行っています。

(21) CLD.12.1.5 実務管理者の運用のセキュリティ

Generalist e-University[®]におけるユーザ無効化、権限変更化等、慎重を要する操作の手順については管理者画面のメニューやガイドにしたがってください。

(22) 12.3.1 情報のバックアップ

Generalist e-University[®]では、お客様のデータやコンテンツのバックアップを日次で取得しています。バックアップは7世代（7日分）までを保持いたします。

バックアップデータについては、Generalist e-University[®]のデータと同様に日本国内に保存します。

(23) 12.4.1 イベントログ取得

Generalist e-University[®]において、個人情報アクセスログ等のログを保持しています。お客様がご参照される場合はヘルプデスクサービスへお問い合わせください。

また当社は、当社の責任範囲において、Generalist e-University[®]の維持に必要なログを取得し

ています。

(24) 12.4.4 クロックの同期

Generalist e-University[®]では、システム時刻の同期をNTP等の技術を利用して行っています。

(25) CLD.12.4.5 クラウドサービスの監視

Generalist e-University[®]では、当社の責任範囲において、次の監視を実施しています。

・お客様運用環境の稼働状況

詳細は、「Generalist e-University[®] サービス仕様書」をご参照ください。

(26) 12.6.1 技術的ぜい弱性の管理

脆弱性情報を収集し、Generalist e-University[®]の当社責任範囲に影響するぜい弱性については対策をしています。ぜい弱性および対策に関する情報は、ログイン画面またはヘルプデスクサービスよりお知らせします。

(27) 13.1.3 ネットワークの分離

Generalist e-University[®]では、お客様にご利用いただく環境及びデータは論理的にネットワークが分離された状態で運用しています。

(28) CLD.13.1.4 仮想及び物理ネットワークのセキュリティ管理の整合

Generalist e-University[®]では、仮想ネットワークの設定と物理ネットワークの設定の整合が取れるように、運用管理しています。

(29) 14.1.1 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化

Generalist e-University[®]でご提供している情報セキュリティ機能やサービス仕様については、「Generalist e-University[®] サービス仕様書」をご参照ください。

(30) 14.2.1 セキュリティに配慮した開発のための方針

Generalist e-University[®]の開発においては、当社のセキュリティの枠組み（ISMS、PSIRT）、及び品質管理（QMS）のプロセスに従って設計、構築、検査、リリースをしています。

(31) 15.1.2 供給者との合意におけるセキュリティの取扱い

Generalist e-University[®]における、お客様と当社のセキュリティ対策を含む責任分界点については「4.責任分界点」をご参照ください。

(32) 15.1.3 ICTサプライチェーン

Generalist e-University[®]ではインフラとして社外のクラウドサービスを利用しています。当社はクラウドサービスカスタマとして、委託先との契約約款にセキュリティリスクに対応するための要求事項を定めています。

(33) 16.1.1 責任及び手順

Generalist e-University[®]に関する情報セキュリティインシデントは、当社の I S M S 関連規程に基づいて管理しています。お客様の環境に影響がある可能性があるインシデントはログイン画面またはヘルプデスクサービスよりお知らせします。詳細はヘルプデスクサービスへお問い合わせください。

(34) 16.1.2 情報セキュリティ事象の報告

Generalist e-University[®]に関するお客様からのお問い合わせ、ご報告、および当社からのご連絡、ご報告はヘルプデスクサービスより行います。

(35) 16.1.7 証拠の収集

Generalist e-University[®]において、個人情報アクセスログ等のログを保持しています。お客様がご参照される場合はヘルプデスクサービスへお問い合わせください。

その他、Generalist e-University[®]におけるログファイルの扱いについては「Generalist e-University[®] サービス仕様書」をご参照ください。

(36) 18.1.1 適用法令及び契約上の要求事項の特定

Generalist e-University[®]に適用される法律は、日本国の法律となります。

(37) 18.1.2 知的財産権

Generalist e-University[®]に関するお客様からのご連絡はヘルプデスクサービスにてお受けいたします。知的財産権に関するお問い合わせがある場合にも、この窓口をご利用ください。

(38) 18.1.3 記録の保護

Generalist e-University[®]のお客様環境で収集し、保存しているログファイル等の記録の保護については、「Generalist e-University[®] サービス利用規約」をご参照ください。

(39) 18.1.5 暗号化機能に対する規制

Generalist e-University[®]で提供する暗号について、日本国の法令、規制に従って管理しています。

(40) 18.2.1 情報セキュリティの独立したレビュー

Generalist e-University[®]では I S O / I E C 2 7 0 0 1、「I S O / I E C 2 7 0 1 7 : 2 0 1 5 に基づく I S M S クラウドセキュリティ認証に関する要求事項」への適合性を、第三者審査を受審することにより確認しています。

以 上